

2023 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

1月1日	日	Fruit(実)																			21時~
1月2日	月					9時~					Fruit(実)										
1月3日	火	1時~																			Racine(根)
1月4日	水	2時~				7時~															
1月5日	木																				19時~
1月6日	金	Fruit(実)	5時~	Fleur(花)	☺																
1月7日	土																				
1月8日	日						10時~	Feuille(葉)													22時~
1月9日	月	Fruit(実)										15時~									
1月10日	火					5時~															
1月11日	水	Fruit(実)																			
1月12日	木																				
1月13日	金	1時~						Racine(根)													
1月14日	土																				
1月15日	日																				
1月16日	月									12時~											19時~
1月17日	火	Fleur(花)																			
1月18日	水	0時~	Feuille(葉)																		21時~
1月19日	木	2時~																			
1月20日	金	3時~	Fruit(実)				☉														
1月21日	土																				18時~
1月22日	日																				18時~
1月23日	月	Racine(根)																			23時~
1月24日	火	Fleur(花)																			
1月25日	水											15時~									
1月26日	木	Feuille(葉)								10時~		15時~		Feuille(葉)							
1月27日	金																				
1月28日	土									9時~	Fruit(実)										21時~
1月29日	日							4時~			10時~				15時~	Fruit(実)					
1月30日	月							7時~													
1月31日	火	Racine(根)										11時~				16時~					

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

ドイツ人 Ms. Maria Thun さんは、40年以上にわたる実験から、宇宙全体が作物と深い関係があることを実証してきました。それらの成果を農業に生かす為、毎年その農事暦を発行しています。弊社取扱いワイン生産者の多くが、その仏語版 Calendrier des Semis Bio-Dynamique (Maria et Matthias Thun)を参考にしています。

2010年4月のフレデリック・コサル氏来日時の酒販店様向けセミナーにおいて、

Fruit(実) Fleur(花)

の日時（その中でもとりわけ新月から満月に向かうとき）にバランスの良いワインは特に開き、美味しく飲めるという説明がありました。（黄色が花（光）、青色が葉（水）、ピンク色が実（熱）、紫色は根（土）の時間帯。白抜きの日時は花→葉、葉→実、実→根、根→花に移動する時間帯です。黒抜きの日時は、月、地球、惑星の特別な位置関係により、作物に否定的な作用を及ぼす日時に、ワインを飲むのには最も適さないそうです。

2023 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

2月1日	水	Racine(根)																			
2月2日	木					6時~					Fleur(花)										
2月3日	金																				
2月4日	土									10時~	Feuille(葉)										20時~
2月5日	日																				
2月6日	月	☺								9時~	Fruit(実)										
2月7日	火																				
2月8日	水																				
2月9日	木									7時~											
2月10日	金	Racine(根)																			
2月11日	土																				
2月12日	日																13時~				20時~
2月13日	月	Fleur(花)																			
2月14日	火									8時~	Feuille(葉)										
2月15日	水																				
2月16日	木																13時~				
2月17日	金	Fruit(実)																			
2月18日	土																14時~				Racine(根)
2月19日	日									6時~											
2月20日	月									6時~		10時~	Fleur(花)	☉							
2月21日	火																				
2月22日	水	2時~									Feuille(葉)										20時~
2月23日	木	Racine(根)	5時~									10時~	Feuille(葉)								
2月24日	金																				18時~
2月25日	土	0時~										7時~	Fruit(実)								19時~
2月26日	日	0時~																			14時~
2月27日	月																				Racine(根)
2月28日	火																				

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

なお、フランス版では黒抜きの時間帯でも日本版カレンダーでは黒抜きではない部分がありましたが、フランス版カレンダーに上記は従っております（時差は考慮しております）。弊社としても、同じワインでも飲むタイミングによって味わいに違いがある！という実感はしておりますが・・・カレンダーを参考に実験を重ねていきたいと思っております。

(参考文献) Calendrier des Semis 2022 Bio-Dynamique (d'après Maria et Matthias K.THUN)
マリア・トゥーンの天体エネルギー栽培法 (マリア・トゥーン)
When wine tastes the best – A biodynamic calendar for wine drinkers



Copyright VinsCoeur & co.